

ここのは かわら版

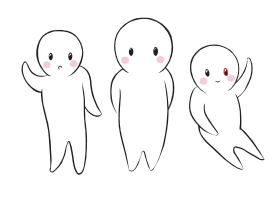
平成26年
冬号

平成26年12月

MCMメンタルクリニック
Materia

認知症デイケア
ここのは
訪問看護
くりいと

TEL:0997-55-0055
FAX:0997-55-0077
<http://www.mc-materia.com>



みなさんこんにちは！認知症デイケア「ここのは」です。島ももうすっかり季節は秋になりもうすぐ師走です。本日に1年って早いですね。今度も私達の活動と利用者様の様子をお伝えします。

このおは、近くの小学校から運動会の練習をする子供たちの元気な声が聞こえてきます。日頃からリハビリやレクレーションを頑張っている利用者様。日頃の成果を發揮する為私達も**運動会**をやろうじゃありませんか！

プログラム1番は『チーム対抗水入れリレー』バケツに色水を作り、その水を汲んで、ペットボトルへ移すという競技で、利用者様の表情がとて真剣。「勝つぞー！」という気合で走る姿まで見せて下さいました。車椅子の方もスタッフと一緒に

必死になってゴールを目指します。プログラム2番は綱引きならぬ『タオル引き』顔が真っ赤になるまで引っぱりあいました。競技に参加



してもみなさん、普段見たことのない凄い力を出してスタッフ共々ビックリ！運動会は幾つになっても一番になりたい！負けたくない！そんな感情が出てくる様です。それにしてもこの日は利用者様は強いな〜スタッフも負けてはいられません。



利用者様の中には、『笠利に行きたい！』『あの集落が見たい！』『あやまる岬に行きたい！』など要望がたくさん（笑）ならばまとめて行きましょう！という事で『**秋の遠足**』が決定しました。朝の送迎時からつんやわんやの大騒動でなんとか出発！ドライブしながら節田を回り、行き着いた場所は、笠利町にあるリゾートホテル コーラルバームス。この日、私達はコ

ーラルバームスさんより招待を受け、昔ながらの豚飯を頂く事になりました。（実は豚飯つて食べた事がなくて…と言っより豚飯なんて聞いた事もなかった…）利用者様が食べやすいようにして頂いた豚飯を前に、ホテルの方より食べ方の説明を真剣に聞いています。説明通りに塩豚で炊き込んだご飯に具をのせてスープをかけて『いただきます！あつあつ〜美味し〜』中には何度もお代わりをされる方もおられ大満足の様子でした。

お腹もいっぱいになった所で副支配人がカラオケを用意して下さいました。『わあ〜やったあ〜！』みなさん色んな曲をかけてマイクを片手に気持ちよさそうに歌っています。それにつられて踊りだす利用者様も。普段は見れない利用者様の無邪気な姿を見ながら私達も嬉しくなりました。



楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後はやっぱり六調でお開きです。コーラルバームスの社長様始め



副支配人、従業員の皆さんお世話になりました。またこの様な機会を作って下さいまして本当にありがとうございます。

今回の遠足では、利用者様の違った一面が見れた気がします。利用者みなさん素敵な笑顔がありがとうございます。来年もよろしくお願ひいたします。

HP 川口 小白合



島内全域送迎対応
医師・看護師
作業療法士
介護スタッフ
による専門スタッフが
対応します
お気軽にご相談
ください

認知症デイケア
ここのは

クリニックに併設だから
医療と介護のWサポート
認知症に特化した専門スタッフ
介護保険ではなく医療保険対応
島内全域送迎対応
専門看護師による訪問看護

医療費の一部が給付される
公費負担制度もあります

訪問看護ってなんなの？

患者様のご家族よりクリニックの受付でこんなことをよく聞かれます。
訪問看護とは、当院の看護師が医師の指示の元、ご自宅や施設へお伺いして患者様の状態の把握、ご本人やご家族が抱えている不安や悩みをお聴きしながら共に考え、ご家庭や地域の中で安心して生活できるようにお手伝いさせて頂くことを目的としています。
受診が途切れがち・薬をきちんと飲めない・一人暮らしが不安・外出に不安がある・家族以外に相談したい・不規則な生活になっている・話し相手欲しい・ご家族が患者様にどの様に接してよいか困っている・利用できる制度の活用の仕方がわからない…など。
このような時はお気軽にご相談下さい。

事務 窪田 さつき



しあわせの瞬間

ことではその日の利用者様に合った頭や身体を動かす事の出来るレクリエーションを、午前と午後の最低二回は行ないます。どちらも皆さんが楽しんで参加して頂く為にスタッフの知恵と工夫と勉強が必要ですが、こののは利用者様の方が頼もしくて、「こうしたら皆参加出来るんじゃない?」「これはあの人が苦手だと思っよう」と、アドバイスをし下さいます。また何気ないやりとりから、楽しいレクリエーションが生まれる事もあるんです。例えば、皆さんがたちまち元気になる『**ボール相撲**』。こののはこのボール相撲が大爆笑の渦を呼んでいます。大きなバランスボールを足を使ってひたすら対戦相手と押し合うだけ。「はっけよーい!のこったのこった!」初めは真剣に押し合いますが、何故かしら途中から大爆笑に変わります。



笑いをごらんから一生懸命押し合う2人を見て、他の利用者様は涙を流すほどの笑いとなって盛り上がるのです。その笑いの伝染は凄まじく誰にでも感染します。

利用者様もスタッフも全員が歓声をあげ大騒ぎするレクリエーションの一つです。「休憩してお茶にしましょうか?」とゲーム終了後、「ああ、笑いすぎて腹が痛い!」とお腹をさする方。「負けんかったねえ」と満足そうな方。それに対して思わず「ふふふ」とほほ笑む方。「面白かったね」とお茶を飲みながら話し合う利用者様達。利用者様の楽しそうなお話が聞こえ、これこそ「こののは幸せレクリエーションだな」と嬉しくなる瞬間です。

CW 民 ひふみ

「見える事例検討会」

奄美で頑張っている介護・医療に関わるみなさん、いつもご尽力ありがとうございます!

ところで、以前に八森・大友両氏により奄美でも開催された他職種連携の為の「見える事例検討会」を覚えていますか?



Main Mapを利用しての斬新な手法で非常に分かり易く、明日から活かせる Action Plan が魅力的でしたよね! その「見える事例検討会」を開催するには2名のファシリテーターが必要なんです。この度、マテリア院長 原口と保健師 原口(結花)がファシリテーター資格を取得してきました。

年齢一般・職場環境等々、様々な困り事に関わるみんなで紐解いていきましょう!

平成27年から当院でも定期的に「見える事例検討会」の開催を予定しており、どなたでも自由に参加出来る様にご案内する予定です。

また、時間の許す限りみなさんの地域や職場へも出張研修致しますのでお気軽にお声掛け下さいね!

詳細はメンタルクリニック Materia 保健師 原口(結花)までお問い合わせ下さい

「サイン」を見逃していませんか?

「本人が病院に行きたがらない」

「私は頭がおかしいからって家族が病院に連れてきたのよ...」 受診されている患者様からよく聞かれる言葉です。

認知症の患者様は、家族が物忘れや行動の変化に気付き心配されて連れて来られる事が多いのです。しかし患者様は、そのような最近のエピソードを忘れてしまい自分は「どうもないのに」とか「なぜ怒ってばかりいるのか?」その理由がわからないのです。

人が自分に攻撃しているようにしか感じなくなり、病院に行くこうと言って



「自分はおかしいから必要ない」と言って拒否してしまうのです。この様な抵抗に合うとどうしても受診を躊躇してしまい初期対応が遅れてしまうことが多いのです。しかし本人は以前と比べ自分は何が違つていており、不安になつてきているかもしれません。

認知症という病気は長期戦です。ご本人もご家族も疲れないよう自分で抱え込まず小さな事でも「あれ?」「つと思つたらお電話からでも」遠慮なくご相談下さい。

NS 津田 美幸



10月活動報告

- 4日 漢方講演会 (院長)
- 21日 訪問介護事業所研修会: 奄美市社協 (原口保健師 講師)
- 25日 抗うつ薬講演会 (院長)
- 26日 ケアマネージャー試験 4名受験

11月活動報告

- 8日 認知症医療・ケアにおけるこれからの役割と活動 (鹿児島市にて) 院長 演目: 認知症における保健師への期待 原口保健師講師演目: 認知症における保健師の役割
- 11日 訪問介護事業所研修会: あおぞらホームヘルスサービス (原口保健師 講師)
- 12日 認知症初期支援チーム講演会 (院長・原口保健師 講師 / 看護師・作業療法士 出席)
- 15~16日 [見える事例検討会] ファシリテーター養成講座 (院長・原口保健師 講師取得)
- 18日 訪問介護事業所研修会: 訪問介護事業所カラス (原口保健師 講師)

12月活動予定

- 5日 在宅ホスピス講演会
- 7日 睡眠導入剤講演会
- 14日 HIV精神病講演会

活動報告と予定

最善の地域包括ケアを奄美から世界に発信

MCM メンタルクリニック 精神科 Materia 心療内科

ストレス疾患・認知症 漢方治療の専門医

認知症でお困りの方 ご相談下さい

「物忘れ外来」も行っています

TEL: 0997-55-0055

お気軽にお電話下さい